

数学科

教科の重点目標 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体を見ると、授業への取り組む姿勢や意欲を感じられる。基本的な計算問題（因数分解・2次方程式含む）、文章問題などは、多くの生徒が正確に解けるようになった。しかし、難しい計算問題（分数や小数の混じった）や文章問題などに課題がある。 ・少人数習熟度別指導を行っていることもあり、自分に合ったペースで学習でき、質問をしやすいと感じている。 ・授業の中で繰り返し演習をすることにより、自信をつけている生徒が多い。しかし、その場だけになってしまい定着していない生徒もいることが課題である。 ・授業中に自ら考える場面があると感じている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業の中で、何を習得すべきなのか明確にするために、毎時間の目標をしっかりと提示するよう工夫する。 ・基礎・基本の計算を定着させるため、練習問題を十分に確保し、定着を図る。 ・「なぜそうなるのか」「どうしてそうしたのか」理由を説明させる活動を取り入れ、筋道を立てて考えられるようにする。 ・関数の利用や図形の証明問題など、具体物などを提示し、視覚的に理解を深めることができるようにし、苦手意識をなくしていきたい。 ・習熟度別少人数授業を行うことで、生徒に合ったペースで授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認や定着のため、週末課題（宿題）の取り組みを積極的に実施する。 ・定期テストの復習として、「解説書」を作成し問題の理解を深め、記述し説明する力をつける。 ・学習を確認、定着させるため単元テストを実施し、その状況に合わせて、少人数クラスを編成するとともに、実態を把握し、個に応じた適切な指導を行っていく。 ・基本問題と発展問題の教材を工夫し作成する。 	

